

九州厚生局長 殿

琉球大学医学部附属病院長  
須加原 一博

琉球大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 21 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

|        |      |
|--------|------|
| 研修医の人数 | 43 人 |
|--------|------|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職種    | 常勤   | 非常勤 | 合計     | 職種      | 員数  | 職種          | 員数   |
|-------|------|-----|--------|---------|-----|-------------|------|
| 医師    | 308人 | 6人  | 310.2人 | 看護補助者   | 62人 | 診療エックス線技師   | 0人   |
| 歯科医師  | 17人  | 1人  | 17.8人  | 理学療法士   | 5人  | 臨床検査技師      | 32人  |
| 薬剤師   | 25人  | 0人  | 25.0人  | 作業療法士   | 3人  | 衛生検査技師      | 0人   |
| 保健師   | 0人   | 0人  | 0.0人   | 視能訓練士   | 3人  | その他         | 0人   |
| 助産師   | 15人  | 0人  | 15.0人  | 義肢装具士   | 0人  | あん摩マッサージ指圧師 | 0人   |
| 看護師   | 445人 | 21人 | 460.7人 | 臨床工学技士  | 10人 | 医療社会事業従事者   | 3人   |
| 准看護師  | 0人   | 0人  | 0.0人   | 栄養士     | 0人  | その他の技術員     | 21人  |
| 歯科衛生士 | 1人   | 0人  | 0.0人   | 歯科技工士   | 0人  | 事務職員        | 132人 |
| 管理栄養士 | 5人   | 0人  | 5.0人   | 診療放射線技師 | 23人 | その他の職員      | 15人  |

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

|              | 歯科等以外   | 歯科等    | 合計        |
|--------------|---------|--------|-----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 481.1 人 | 18.2 人 | 498.3 人   |
| 1日当たり平均外来患者数 | 981.9 人 | 67.6 人 | 1,049.4 人 |
| 1日当たり平均調剤数   |         | 7928   | 剤         |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。







(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名  | 取扱患者数 | 疾患名   | 取扱患者数 |
|--|-------|---|-------|
| ・ベーチェット病                                       | 23人   | ・膿疱性乾癬  | 9人    |
| ・多発性硬化症  | 9人    | ・広範脊柱管狭窄症   | 7人    |
| ・重症筋無力症  | 29人   | ・原発性胆汁性肝硬変  | 26人   |
| ・全身性エリテマトーデス                                   | 130人  | ・重症急性膵炎   | 2人    |
| ・スモン   | 0人    | ・特発性大腿骨頭壊死症   | 75人   |
| ・再生不良性貧血                                       | 10人   | ・混合性結合組織病   | 9人    |
| ・サルコイドーシス                                      | 46人   | ・原発性免疫不全症候群   | 4人    |
| ・筋萎縮性側索硬化症                                     | 6人    | ・特発性間質性肺炎   | 8人    |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎                               | 95人   | ・網膜色素変性症  | 37人   |
| ・特発性血小板減少性紫斑病                                  | 21人   | ・プリオン病  | 0人    |
| ・結節性動脈周囲炎                                      | 17人   | ・肺動脈性肺高血圧症  | 4人    |
| ・潰瘍性大腸炎  | 143人  | ・神経線維腫症   | 10人   |
| ・大動脈炎症候群                                       | 25人   | ・亜急性硬化性全脳炎  | 6人    |
| ・ビュルガー病  | 32人   | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群  | 11人   |
| ・天疱瘡   | 36人   | ・慢性血栓塞栓性肺高血圧症   | 2人    |
| ・脊髄小脳変性症                                       | 143人  | ・ライソゾーム病  | 6人    |
| ・クローン病   | 123人  | ・副腎白質ジストロフィー  | 1人    |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎                                 | 3人    | ・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)   | 0人    |
| ・悪性関節リウマチ                                      | 4人    | ・脊髄性筋萎縮症  | 0人    |
| ・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、<br>大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病) | 54人   | ・球脊髄性筋萎縮症   | 0人    |
| ・アミロイドーシス                                      | 4人    | ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎  | 0人    |
| ・後縦靭帯骨化症                                       | 34人   | ・肥大型心筋症   | 1人    |
| ・ハンチントン病                                       | 1人    | ・拘束型心筋症   | 0人    |
| ・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)                             | 26人   | ・ミトコンドリア病   | 1人    |
| ・ウェゲナー肉芽腫症                                     | 7人    | ・リンパ脈管筋腫症(LAM)  | 0人    |
| ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症                               | 42人   | ・重症多形滲出性紅斑(急性期)   | 0人    |
| ・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋<br>小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)  | 10人   | ・黄色靭帯骨化症  | 0人    |
| ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)                            | 1人    | ・間脳下垂体機能障害<br>(PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH<br>分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング<br>病、先端巨大症、下垂体機能低下症) | 18人   |

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

| 研究課題名   | 研究者氏名  | 所属部門      | 金額        | 補助元又は委託元   |
|---|--------|-----------|-----------|------------|
| 酸感受性イオンチャンネルを標的とした脊髄保護法の開発  | 齊川 仁子  | 手術部(麻酔科)  | 1,100,000 | 補 日本学術振興会  |
| 簡易なCYP2C19遺伝子多型検査によるH.pylori除菌率への効果                                 | 宇野 司   | 薬剤部       | 1,000,000 | 補 日本学術振興会  |
| C型肝炎ウイルス複製に対する脂肪沈着、およびアディポサイトカインの作用                                 | 山城 剛   | 輸血部(第一内科) | 500,000   | 補 日本学術振興会  |
| 内臓脂肪由来活性酸素種による血管障害の分子メカニズム  | 島袋 充生  | 第二内科      | 900,000   | 補 日本学術振興会  |
| 心房細動基質同定法と与論島遺伝的心房細胞家系疫学調査に関する研究                                    | 比嘉 聡   | 第二内科      | 700,000   | 補 日本学術振興会  |
| 中咽頭癌の放射線治療効果予測における低酸素状態に関連する遺伝子群の意義                                 | 小川 和彦  | 放射線部      | 2,200,000 | 補 日本学術振興会  |
| 尿路上皮癌患者尿のモノクローナル抗体RM2へ反応する糖蛋白の解析と臨床意義                               | 松村 英理  | 泌尿器科      | 1,200,000 | 補 日本学術振興会  |
| 再生医学的視点による腫瘍内マクロファージの樹状細胞への再分化法の確立                                  | 齊尾 征直  | 病理部       | 1,100,000 | 補 日本学術振興会  |
| 妊婦における睡眠呼吸障害の調査   | 太田 千亜紀 | 検査部       | 580,000   | 補 日本学術振興会  |
| 九州・沖縄地域の医療施設におけるクロストリジウム・ディフィシレの遺伝子疫学調査                             | 木佐貫 京子 | 検査部       | 580,000   | 補 日本学術振興会  |
| 貯血式自己血輸血製剤の品質管理と細菌汚染調査  | 田野口 優子 | 検査部       | 570,000   | 補 日本学術振興会  |
| 沖縄県における市中感染型メチシリン耐性黄色ブドウ球菌の疫学調査と遺伝子解析                               | 仲宗根 勇  | 検査部       | 560,000   | 補 日本学術振興会  |
| 慢性腎臓病の診断における血清のシスタチンC測定の意義  | 山城 香菜子 | 検査部       | 560,000   | 補 日本学術振興会  |
| 肝炎ウイルスモデルを用いた抗原特異的リンパ球と肝障害の炎症カスケードの解明                               | 齊尾 征直  | 病理部       | 50,000    | 補 日本学術振興会  |
| 腎不全発症率の地域格差の研究  | 井関邦敏   | 血液浄化療法部   | 1,500,000 | 補 厚生労働省科研費 |
| 今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病の位置付けに関する検討(健診項目因子分析)                        | 井関邦敏   | 血液浄化療法部   | 1,050,000 | 補 厚生労働省科研費 |
| 保健指導への活用を前提としたメタリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出のための横断・縦断研究(沖縄県豊見城市地域コホート研究) | 島袋 充生  | 第二内科      | 2,400,000 | 補 厚生労働省科研費 |

|  |           |        |           |   |                       |
|--|-----------|--------|-----------|---|-----------------------|
| 各種健診データとレセプトデータ等による保健事業の評価に関する研究                                       | 島袋 充生     | 第二内科   | 5,200,000 | 補 | 厚生労働省科研費              |
| 前立腺癌JapaneseNationalCancerDatabase (JNCDB) 日米比較                        | 小川 和彦     | 放射線部   | 600,000   | 補 | 厚生労働省科研費              |
| L-アルギニン  | 大見 剛      | 小児科    | 1,000,000 | 補 | 厚生労働省科研費              |
| 甲状腺区リーゼの全国疫学調査に基づいた診断基準(第1班)の検証と改訂、発症実態の解明、治療指針の作成(循環器症状の解析)           | 幸喜 毅      | 内分泌代謝学 | 800,000   | 補 | 厚生労働省科研費              |
| 頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助科学療法を検討  | 鈴木幹男      | 耳鼻咽喉科  | 409,500   | 委 | 先端医療振興財団              |
| アンブリアHPVテストによる子宮頸がん早期診断の有用性に関する臨床性能試験                                  | 青木陽一      | 産婦人科   | 1,023,750 | 委 | ロシュ・ダイアグノスティクス        |
| Tendon-bone Healing と骨孔拡大に対するアレントロネートの影響                               | 新城宏隆      | 整形外科   | 2,730,000 | 委 | 萬有製薬株式会社              |
| Tendon-bone Healing と骨孔拡大に対するアレントロネートの影響                               | 新城宏隆      | 整形外科   | 156,000   | 委 | 萬有製薬株式会社              |
| カテーテル心筋焼灼術におけるエンサイトの臨床上の有効性について  | 比嘉 聡 石垣清子 | 第二内科   | 1,610,000 | 委 | 日本光電工業                |
| ICD shock lead至適filter設定の検討: 定常状態、塩酸アミノプロレノール負荷中、負荷後のT wave sensingの検討 | 比嘉 聡 石垣清子 | 第二内科   | 1,000,000 | 委 | 日本光電工業                |
| CRTD後の左室電氣的リモデリングの検討について   | 比嘉 聡 石垣清子 | 第二内科   | 1,000,000 | 委 | 日本メドトロニック株式会社         |
| CARTOXPを用いた新たなSubstrateMapの有効性評価に関する研究                                 | 比嘉 聡 石垣清子 | 第二内科   | 300,000   | 委 | ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)    |
| 心房細動におけるカテーテル心筋焼灼術の際の高頻度電気刺激による心外膜側迷走神経叢分布領域同定法について                    | 比嘉 聡 石垣清子 | 第二内科   | 520,000   | 委 | (株)メディコン              |
| 自動細菌タイピング装置DiversiLabの検討評価   | 山根 誠久     | 検査部    | 364,000   | 委 | シスメックス・バイオメリュー(株)     |
| カテーテル心筋焼灼術における放射線防護キャビンの患者被ばく及ばず影響について                                 | 比嘉 聡 石垣清子 | 第二内科   | 52,000    | 委 | センチュリーメディカル株式会社       |
| 前立腺癌由来ハプトグロビンペータ鎖を標的とする新規治療法の開発  | 米納浩幸      | 泌尿器科   | 2,000,000 | 委 | 独立行政法人JTSイノベーションプラザ福岡 |
| 臨床検体を用いたエクルーシス試薬Anti-HCVの性能評価  | 山根 誠久     | 検査部    | 312,000   | 委 | ロシュ・ダイアグノスティクス(株)     |
| クラビット特定使用成績調査(第9回抗菌薬感受性年次別推移の検討)                                       | 山根 誠久     | 検査部    | 75,075    | 委 | 第一三共株式会社              |
| 320列エアディレクターCTを用いた呼吸器疾患に対する撮影技術と臨床応用に関する研究                             | 村山 貞之     | 放射線部   | 315,000   | 委 | (株)ネット・メディカルセンター      |

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

| 雑誌名  | 題名  | 発表者氏名     | 所属部門 |
|--|---|-----------|------|
| Europitan Journal of Radiology                               | Computed tomographic features of 23 sporadic cases with Legionella pneumophila pneumonia  | Hui Y     | 第一内科 |
| Journal of Clinical Microbiology                             | Distribution of hepatitis B virus genotypes among patients with chronic infection in Japan shifting toward an increase of genotype A  | Matuura K | 第一内科 |
| Comparative Immunology, Microbiology and Infectious Diseases | Descriptive analysis of the prevalence and the molecular epidemiology of Mycobacterium avium complex-infected pigs that were slaughtered on the main island of Okinawa            | Hibiya K  | 第一内科 |
| 日本化学療法学会雑誌   | 人工呼吸器関連肺炎に対する注射用 ciprofloxacinの臨床効果   | 當山真人      | 第一内科 |
| Gastroenterology and Hepatology                              | Comparison of endoscopic findings with symptom assessment systems (FSSG and QUEST) for gastroesophageal reflux disease in Japanese centres  | Danjo A   | 第一内科 |
| Gut  | Epigastric pain in a woman with previous Behcet' s disease  | Hokama A  | 第一内科 |
| Internal Medicine  | Influence of human T lymphotropic virus type I infection on the etiology of community- acquired pneumonia   | Atsumi A  | 第一内科 |
| Intern Med   | The point of crossover of infectious pneumonia and interstitial pneumonia   | Fujita J  | 第一内科 |
| J Infect Chemother   | Emphysematous pyelonephritis successfully treated by early intervention using a renoureteral catheter   | Teruya H  | 第一内科 |
| J Viral Hepat  | Inhibition of intracellular hepatitis C virus replication by nelfinavir and synergistic effect with interferon- $\alpha$  | Toma S    | 第一内科 |
| The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery           | Transmission of human T-lymphotropic virus type I by bilateral living-donor lobar lung transplantation  | Yara S    | 第一内科 |
| J Infect Chemother   | Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the Japanese Society of Chemotherapy on 2007: general view of the pathogens' antibacterial susceptibility | Niki Y    | 第一内科 |
| 日本化学療法学会雑誌   | 呼吸器感染症に対する levofloxacin 500mg 1日1回投与の臨床効果   | 河野 茂      | 第一内科 |
| J Infect Chemother   | Addison' s Disease due to tuberculosis that requered differentiation from SIADH   | Kinjo T   | 第一内科 |



|                               |   |            |  |
|-------------------------------|---|------------|--|
| Clin Gastroenterol<br>Hepatol | Pneumatosis cystoides intestinalis:<br>radiographic and endoscopic features   | Hokama A   | 第一内科   |
| 結核                            | 当初舌癌が疑われた舌結核の1症例—本邦報告16例の文献的考察を含めて—   | 古堅 誠       | 第一内科   |
| Jpn. J. Infect. Dis.          | Epidemiology of Influenza from 2007 to 2008 in Naha Area, Okinawa Prefecture :<br>Surveillance of Rapid Antigen Test Results                    | Higa F     | 第一内科   |
| Internal Medicine             | Malignant Epithelioid Angiomyolipoma in the kidney and liver of a patient with pulmonary lymphangioliomyomatosis: lack of response to sirolimus | Higa F     | 第一内科   |
| J Infect Chemother            | Nonspecific interstitial pneumonia pattern as pulmonary involvement in human T-cell lymphotropic virus type 1 carriers                          | Yu H       | 第一内科   |
| JOP                           | Splenic infarction in pancreatic cancer   | Shiroma J  | 第一内科   |
| J Crohn' s Colitis            | Pneumatosis intestinalis and hepatic portal venous gas in Crohn' s disease  | Hokama A   | 第一内科   |
| South Med J                   | Heyde syndrome: a common but less recognized complex of aortic stenosis and bleeding intestinal angiodysplasia                                  | Hokama A   | 第一内科   |
| Internal Medicine             | Lung abscess caused by Legionella species: implication on the immune status of host   | Yu H       | 第一内科   |
| Internal Medicine             | Active tuberculosis in patients undergoing hemodialysis for end-stage renal disease: a 9-year retrospective analysis in a single center         | Nakamura H | Department of Medicine and Therapeutics, Control and Prevention of Infectious Diseases |
| Internal Medicine             | Pulmonary artery pseudoaneurysm secondary to lung abscess   | Haranaga S | 第一内科   |
| Dig Liv Dis                   | Telescope sign of intussusception in Peutz-Jeghers syndrome   | Hokama A   | 第一内科   |
| Dig Dis Sci                   | The sigmoid colon of ulcerative colitis   | Hokama A   | 第一内科   |
| 日本呼吸器学会雑誌                     | 肺炎球菌性肺炎に続発した器質化肺炎の1例  | 原永修作       | 第一内科   |
| Dig Dis Sci                   | Appendiceal orifice inflammation in ulcerative colitis  | Hokama A   | 第一内科   |

|   |   |                            |      |
|---|---|----------------------------|------|
| International Journal of Medical Microbiology | Phospholipase PlaB is a new virulence factor of Legionella pneumophila  | Schunder E                 | 第一内科 |
| 内科  | すりガラス陰影を呈した水痘帯状疱疹ウイルス肺炎の1例.   | 奥平多恵子                      | 第二内科 |
| 日本内分泌学会誌                                      | 出産後の甲状腺機能異常のため診断に苦慮した Sheehan症候群の一例.  | 中山良朗                       | 第二内科 |
| 日本内分泌学会誌                                      | 123I-MIBGシンチグラフィにて集積を認めず、18F-FDG-PETで集積を認めた副腎原発褐色細胞腫の1例.  | 仲村英昭                       | 第二内科 |
| 日本内分泌学会誌                                      | シンナー吸入によって低カリウム性四肢麻痺をきたした一例.  | 宮良あやこ                      | 第二内科 |
| 日本内分泌学会誌                                      | 血中VMA高値, 131I-MIBGシンチグラフィにて診断した血液透析患者における副腎褐色細胞腫の一例.  | 久場絵里子                      | 第二内科 |
| 日本内分泌学会誌                                      | Cardiometabolic riskの評価と治療戦略ーコレステロール吸収阻害薬のポジショニング.  | 島袋充生                       | 第二内科 |
| 糖尿病   | 内臓脂肪面積は肥満度に関わらず高インスリン血症の予測因子である.  | 比嘉盛文/<br>高須信行              | 第二内科 |
| 内科  | Stevens-Johnson症候群罹患後に bronchobronchiolitis obliteransを発症した1例.  | 宮地敬/<br>高須信行               | 第二内科 |
| 癌と化学療法  | 腔水症, 心タンポナーデにて発症したHIV, HHV-8陰性Primary Effusion Lymphoma-Like Lymphomaの1例.   | 平良民子/<br>高須信行              | 第二内科 |
| 日本内分泌学会誌                                      | 非典型的な画像所見を呈した両側副腎悪性リンパ腫の1例.   | 仲村英昭                       | 第二内科 |
| Cell Metab.                                   | Angiopoietin-like protein 2 promotes chronic adipose tissue inflammation and obesity-related systemic insulin resistance.   | Tabata M/<br>Shimabukuro M | 第二内科 |
| Acta Haematol                                 | Treatment-Related Burkitt's lymphoma: Literature Review and Case Report of successful Treatment with Rituximab Monotherapy. | A. Nagasaki/<br>N. Takasu  | 第二内科 |
| アディポサイエンス                                     | 血管内皮機能とアディポサイトカイン.  | 島袋充生                       | 第二内科 |
| 日本癌学会誌  | 成人T細胞白血病におけるbZip型転写因子ATF3の発現異常.   | 仲地佐和子                      | 第二内科 |
| 糖尿病   | 著名な高リン血症が診断の参考となった乳酸アンダーシスの1例.  | 久場絵里子                      | 第二内科 |

|                       |  |             |          |
|-----------------------|--|-------------|----------|
| 糖尿病                   | 高血糖のため当初糖尿病性ケトアシドーシスが疑われたアルコール性ケトアシドーシスの1例.  | 中山良朗        | 第二内科     |
| 日本甲状腺学会誌              | カルバマゼピンによる甲状腺機能低下を合併した妊婦の1例.   | 幸喜毅         | 第二内科     |
| 日本甲状腺学会誌              | 血清BAFF/APRILとバセドウ病との関連.  | 砂川澄人        | 第二内科     |
| Intern. Med.          | The Ratio of the Blood Urea Nitrogen/Creatinine Index in Patients with Acute Renal failure is decreased due to Dextran or Mannitol.                    | T. Kouki    | 第二内科     |
| Gynecol Obstet Invest | Elective use of aortic balloon occlusion in cesarean hysterectomy for placenta previa percreta.  | 正本 仁        | 産科婦人科    |
| Arch Gynecol Obstet   | Delayed pneumothorax after laparoscopic ovarian cystectomy.  | 銘苺 桂子       | 周産母子センター |
| Am J Perinatol        | Warfarin-associated fetal intracranial hemorrhage in woman with mitral valve replacement; A case report.   | 正本 仁        | 産科婦人科    |
| J Clin Oncol          | Heparanase expression and angiogenesis in endometrial cancer: Analyses of RT-PCR and immunohistochemistry.   | 青木 陽一       | 産科婦人科    |
| 日本周産期・新生児学会雑誌         | 円錐切除後妊娠における頸管長と流産、感染所見の関連について  | 正本 仁        | 産科婦人科    |
| 皮膚臨床                  | 瘢痕部脱毛を呈した全身性エリテマトーデスの1例  | 峯 嘉子        | 皮膚科      |
| Exp Parasitol         | Phylogenetic Analysis of the Genus Leishmania by Cytochrome b Gene Sequencing  | Asato Y     | 皮膚科      |
| J Dermatol            | Necrotizing fasciitis caused by Streptococcus pneumoniae   | Yamashiro E | 皮膚科      |
| Acta Trop             | K. Cutaneous leishmaniasis caused by Leishmania (L.) major infection in Sindh province, Pakistan.  | Bhutto AM   | 皮膚科      |
| Acta Trop             | Genetic diversity of ribosomal RNA internal transcribed spacer sequences in Lutzomyia species from areas endemic for New World cutaneous leishmaniasis | Kuwahara K  | 皮膚科      |
| 臨床皮膚科                 | メトトレキサート内服により皮膚症状の改善を認めた苔癬様型サルコイドーシスの1例  | 篠原綾         | 皮膚科      |
| 臨床皮膚科                 | ネオオーラルの食後から食前投与への変更で血中濃度の上昇が得られた膿疱性乾癬の2例   | 丸田直樹        | 皮膚科      |

|   |   |  |        |
|---|---|--|--------|
| 臨床皮膚科   | センチネルリンパ節生検が有用であったBowen病由来の進行扁平上皮癌の1例   | 遠藤雄一郎  | 皮膚科    |
| Am J Rhinol Allergy.<br>2009 Mar-Apr;23(2):197-9. | Endoscopic ligation of the sphenopalatine artery and the maxillary artery for the treatment of intractable posterior epistaxis. | Seno S, Arikata M, Sakurai H, Owaki S, Fukui J, Suzuki M, Shimizu T. | 耳鼻咽喉科  |
| 口腔咽喉頭の臨床 (第2版)<br>Page104-105 (2009. 5. 1)        | 咽喉頭の狭窄・閉鎖症  | 鈴木幹男   | 耳鼻咽喉科  |
| ENTONI(1346-2067)108号<br>Page18-22(2009. 11)      | 【口臭へのアプローチ】 舌苔と口臭   | 鈴木幹男   | 耳鼻咽喉科  |
| 頭頸部癌(1349-5747)35巻<br>4号 Page406-411(2009. 12)    | 琉球諸島における頭頸部扁平上皮癌の多重癌について  | 鈴木幹男   | 耳鼻咽喉科  |
| 臨床眼科紀要  | 治療に難渋したCoats病の1例  | 親川 格   | 眼科     |
| 日本眼科学会雑誌  | 術後抗菌薬点眼による菌検出の陽性率、薬剤感受性への影響   | 新垣淑邦   | 眼科     |
| 臨床眼科  | 特集：原発閉塞隅角症に対する治療と予防   | 酒井寛  | 眼科     |
| 臨床眼科  | コラム：van Herick法の実際と意義   | 酒井寛  | 眼科     |
| 臨床眼科  | 久米島スタディの意義と主要知見   | 澤口昭一   | 眼科     |
| Ther Drug Monit                                   | Formulations of valproate alter valproate metabolism: a single oral dose kinetic study.   | Nagai G  | 精神科神経科 |
| Prog<br>Neuropsychopharmacol<br>Biol Psychiatry   | Ropinirole augmentation therapy in a case with treatment-resistant unipolar depression.   | Mihara K   | 精神科神経科 |
| Ther Drug Monit                                   | Pharmacokinetic and pharmacodynamic interactions between carbamazepine and aripiprazole in patients with schizophrenia.         | Nakamura A   | 精神科神経科 |
| 麻酔  | フェンタニル予測効果部位濃度と自発呼吸数および術後鎮痛との関係—非開腹術での検討—   | 野口信弘   | 麻酔科    |
| 日本臨床麻酔学会誌   | 体外式膜型肺を使用した気管内肉芽のレーザー焼灼術の麻酔経験   | 奥野栄太   | 麻酔科    |
| 臨床麻酔  | メチルプレドニゾンによるアナフィラキシーショックが疑われた1症例  | 西啓亨  | 麻酔科    |

|                               |   |                  |        |
|-------------------------------|---|------------------|--------|
| J Comput Assist Tomogr.       | Simultaneous occurrence of partial anomalous pulmonary venous return and major bronchial anomaly: computed tomography findings in 5 adult patients.               | 村山貞之             | 放射線科   |
| IVR: Interventional Radiology | 副腎静脈サンプリングにおけるネフログラムを指標とした右副腎静脈下大静脈開口部の検討   | 宜保昌樹             | 放射線科   |
| COPD                          | Quantitative airway assessment on computed tomography in patients with alphas-antitrypsin deficiency.   | 山城恒雄             | 放射線科   |
| Int J Radiat Oncol Biol Phys. | External Beam Radiotherapy for Clinically Localized Hormone-Refractory Prostate Cancer: Clinical Significance of Nadir Prostate-Specific Antigen within 12 Months | 小川和彦             | 放射線科   |
| Anticancer Res,               | Postoperative radiotherapy for localized prostate cancer: clinical significance of nadir prostate-specific antigen value within 12 Months.                        | 小川和彦             | 放射線科   |
| BJU Int,                      | Radiotherapy for patients with localized hormone refractory prostate cancer. Results of Patterns of Care Study in Japan.  | 小川和彦             | 放射線科   |
| Jpn J Clin Oncol,             | Patterns of Radiation Treatment Planning for Localized Prostate Cancer in Japan: 2003-05 Patterns of Care Study Report.   | 小川和彦             | 放射線科   |
| J Appl Physiol                | Airway wall attenuation: a biomarker of airway disease in subjects with COPD.   | 山城恒雄             | 放射線科   |
| Ryukyu Med. J.                | The effects of Palatal Plate on Velopharyngeal Function and Occlusion for Children with Cleft Lip and Palate after Primary Palatoplasty                           | Yoshihiko Nakama | 歯科口腔外科 |
| 日本小児口腔外科学会誌                   | 口蓋形成術後の鼻咽腔閉鎖機能と構音機能の成績評価  | 翁長綾花             | 歯科口腔外科 |
| 日本口腔科学会雑誌                     | スポーツ事故に起因した外傷歯の臨床的検討  | 喜屋武 健            | 歯科口腔外科 |
| 頭頸部癌                          | 口腔癌T4症例に対する超選択的動注化学放射線療法の治療効果ー従来行った化学療法との比較ー  | 新垣敬一             | 歯科口腔外科 |
| Hosp. Dent.                   | A Large Pleomorphic Adenoma of the Soft Palate causing Like Sleep Apnea Syndrome: A case report   | Arakaki Keiichi  | 歯科口腔外科 |
| Hosp. Dent.                   | パノラマX線写真とCTによる下顎智歯および下顎管の状態と難易度に関する検討   | 狩野岳史             | 歯科口腔外科 |
| 日本外傷歯学会                       | 小児の外傷歯に関する臨床的検討   | 新垣敬一             | 歯科口腔外科 |
| Hosp. Dent.                   | 頬粘膜扁平上皮癌の臨床病理学的検討   | 狩野岳史             | 歯科口腔外科 |

|                     |  |               |        |
|---------------------|--|---------------|--------|
| Ryuky Med. J.       | 頭頸部癌患者の放射線治療における口腔内副作用に対する口腔ケアの効果に関する研究  | 知花ゆき子         | 歯科口腔外科 |
| 頭頸部癌                | stage I・II舌扁平上皮癌に頸部リンパ節後発転移における臨床病来学的・免疫組織学的検討   | 又吉 亮          | 歯科口腔外科 |
| Ryuky Med. J.       | Association study of folate pathway gene polymorphisms and nonsyndromic cleft lip with/without cleft palate in a Japanese population | Takahiro Goto | 歯科口腔外科 |
| Ryuky Med. J.       | ミャンマー人における口唇口蓋裂発症とMTHFR遺伝子C677T多型の関連に対する検討   | 後藤尊広          | 歯科口腔外科 |
| Ther Drug Monit     | Effects of the P-glycoprotein inducer carbamazepine on fexofenadine pharmacokinetics.  | Yamada S      | 薬剤部    |
| Br J Clin Pharmacol | Enantioselective disposition of fexofenadine with the P-glycoprotein inhibitor verapamil.  | Sakugawa T    | 薬剤部    |
| Biomed Res          | Effects of a dopamine receptor agonist and atropine sulfate on absorption of valproic acid in rats.                                  | Kameya H      | 薬剤部    |
| 医薬品相互作用研究           | P糖たんぱく質を介した薬物相互作用の臨床研究～Fexofenadine各光学異性体の体内動態～  | 赤嶺由美子         | 薬剤部    |
| Neuroreport         | Paralimbic system and striatum are involved in motivational behavior   | 西村 正彦         | 脳神経外科  |
| Brain Nerve         | New roles of glutamate receptors in glias and gliomas  | 石内 勝吾         | 脳神経外科  |

計103件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

|         |  |
|---------|--|
| 管理責任者氏名 | 病院長 須加原 一博   |
| 管理担当者氏名 | 総務課長 濱野満夫、医療支援課長 上原葉子、医学部事務長 比嘉敏宏<br>放射線部長 村山貞之、薬剤部長 宇野司、看護部長 川満幸子 |

|  |                           | 保管場所   | 管理方法  |
|--|---------------------------|--|---|
| 診療に関する諸記録                                  |                           |  | 診療録は入院、外来別に1患者1ファイル方式で中央管理している。エックス線写真はデジタル化後、放射線部サーバーで保管管理し、出力画像は各診療科保存としている。各科診療日誌、看護記録は院内情報システム上で共有し、一定期間づつプリントアウトしてファイリングしている |
| 病院日誌                                       |                           | 総務課  |   |
| 各科診療日誌、看護記録                                |                           | 看護部  |   |
| 検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 |                           | 医療支援課<br>(診療録に貼付)  |   |
| 手術記録                                       |                           | 手術部  |   |
| エックス線写真                                    |                           | 放射線部   |   |
| 処方せん                                       |                           | 薬剤部  |   |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録                           | 従業者数を明らかにする帳簿             | 病院総務課  |   |
|  | 高度の医療の提供の実績               | 医療支援課  |   |
|  | 高度の医療技術の開発及び評価の実績         | 医学部事務部<br>各診療科   |   |
|  | 高度の医療の研修の実績               | 病院総務課  |   |
|  | 閲覧実績                      | 病院総務課  |   |
|  | 紹介患者に対する医療提供の実績           | 医療支援課  |   |
|  | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 医療支援課<br>薬剤部   |   |
| 第規一則号第一に掲げる十の制第一の確項保各の号状及び第九条の             | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況      | 安全管理対策室を中心に整備、指針を決定し、リスクマネジメント・マニュアルに明記、電子カルテシステムに搭載、全部署へ周知している。 |   |
|  | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況     | 医療安全管理委員会を毎月、リスクマネージャー連絡会議を毎月、分析担当者会議を毎月開催している。定期カンファレンスを毎週実施。   |   |
|  | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況    | 全職員対象に年6回実施。必要時GRMが出前研修として安全研修を実施している。                           |   |

|            |  |  |
|------------|--|--|
| 二十三<br>第一項 | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 報告されたインシデントレポートの内容をリスクマネージャー連絡会議や安全ニュースで周知し、情報の共有し、再発防止に努めている。携帯端末の導入により、患者誤認防止を図る。リスクマネジメント・マニュアルの改訂。インシデントに伴う改善策の立案・整備・実施状況評価している。 |
|            | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況                      | 安全管理対策室に専任のゼネラルリスクマネージャーを配置  |
|            | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況                         | 感染対策室にICNを配置   |
|            | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況                        | 安全管理対策室  |
|            | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況         | 患者相談窓口を設置し、専任の相談員を配置している。  |

|                  |           | 保管場所                     | 分類方法   |
|------------------|-----------|--------------------------|--|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第一条の十一  | 院内感染のための指針の策定状況          | 感染対策室を中心に整備し、感染対策委員会で指針の承認を受け、感染対策マニュアルに明記し、全部署に配布・周知した。         |
|                  | 第一項各号及び第九 | 院内感染対策のための委員会の開催状況       | ①感染対策委員会（毎月1回開催）<br>②感染対策実務者会議（2ヶ月に1回開催）<br>③感染対策リンクス委員会（毎月1回開催） |
|                  | 条の二十三     | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | ①全職員対象：3回<br>②新人看護師：2回<br>③新人研修医：2回<br>④看護師継続研修：4回<br>⑤リンクス対象：2回 |



第一項第一号に掲げる体制の確保の状況

|   |  |
|---|--|
|   | <p>⑥看護補助者：1回<br/>⑦清掃委託業者：1回<br/>合計13回/年実施</p>  |
| 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況           | <p>感染対策支援システムを利用し、毎日院内で決定した監視菌の発生状況を監視。その結果を元にラウンドの実施と、週報・月報を作成し、委員会にて報告を行っている。<br/>感染対策マニュアルを紙ベース以外にイントラネットでも確認できるよう整備した。</p> |
| 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況                            | <p>薬剤部長を責任者として配置。</p>  |
| 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況                            | <p>年2回程度開催することとしている。</p>   |
| 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況            | <p>医薬品安全管理専門委員会のもと、医薬品安全管理手順書を作成の上、各部署に配付し、責任者が業務実施状況を確認している。</p>  |
| 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | <p>薬剤部において情報収集・整理し、広報すべき情報は、オーダーシステムを通じて告知している。</p>  |
| 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況                                 | <p>病院長が委嘱した医療機器安全管理責任者を配置している。</p>   |
| 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況                           | <p>年81回開催している。</p>   |
| 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況                         | <p>医療安全管理専門委員会において点検計画を策定し、保守点検を実施。</p>  |

|  |  |
|--|--|
| <p>医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> | <p>厚生労働省等の各機関から情報を収集し、掲示板への掲示、各部署への周知徹底を実施。重大な事項は直接院長に報告</p> |
|--|--|

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

|             |             |
|-------------|-------------|
| 閲覧責任者氏名     | 病院長 須加原 一博  |
| 閲覧担当者氏名     | 総務課長 濱野 満夫  |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 管理棟 2階 小会議室 |

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

|           |         |   |   |
|-----------|---------|---|---|
| 前年度の総閲覧件数 | 延       | 0 | 件 |
| 閲覧者別      | 医 師     | 延 | 件 |
|           | 歯 科 医 師 | 延 | 件 |
|           | 国       | 延 | 件 |
|           | 地方公共団体  | 延 | 件 |

○紹介患者に対する医療提供の実績

|      |                        |      |                      |
|------|------------------------|------|----------------------|
| 紹介率  | 77.1 %                 | 算定期間 | 平成21年4月1日～平成22年3月31日 |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数              |      | 8,421 人              |
|      | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数  |      | 8,246 人              |
|      | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 |      | 659 人                |
|      | D: 初診の患者の数             |      | 14,225 人             |

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

|  |   |
|--|---|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況   | <input checked="" type="checkbox"/> ・無        |
| ・ 指針の主な内容：<br>① 医療機関における安全管理に関する基本的な考え方<br>② 医療に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項<br>③ 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針<br>④ 医療機関内における医療事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針<br>⑤ 医療事故等発生時の対応に関する基本方針<br>⑥ 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針<br>⑦ 患者からの相談への対応に関する基本方針<br>⑧ その他医療安全の推進の為に必要な基本方針 |   |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況  | 年 12 回  |
| ・ 活動の主な内容：<br>① 安全管理の対策及び教育に関すること<br>② 医療事故の判定に関すること<br>③ リスクマネジメント・マニュアルに関すること<br>④ 医療事故が発生したときにおける事実確認・措置及び対策に関すること<br>⑤ 医事紛争が生じたときの拡大防止策に関すること<br>⑥ 訴訟が提起されたときの対策に関すること<br>⑦ その他安全管理、医療事故、医事紛争及び訴訟に関する重要事項  |   |
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況   | 年 6 回   |
| ・ 研修の主な内容：<br>①ワーファリンの臨床薬理と周術期抗凝固療法<br>②モニターアラームと安全管理<br>③心にひびくコミュニケーション<br>④転倒予防の理論と実践<br>⑤インスリン治療に関するヒヤリハット<br>⑥医療事故防止のための医薬品安全管理体制の維持、強化について  |   |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況   |   |
| ・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・無 )<br>・ その他の改善のための方策の主な内容：<br>① インシデントに関する対策事項の提出<br>② 病院管理者による院内巡視を行い、直接的に指導・確認をする<br>③ リスクマネージャー連絡会議・安全ニュース等で情報の共有を図る  |   |
| ⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況  | <input checked="" type="checkbox"/> ( 2名 ) ・無 |
| ⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況   | <input checked="" type="checkbox"/> ( 2名 ) ・無 |
| ⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況  | <input checked="" type="checkbox"/> ・無        |

- ・ 所属職員： 専任（ 3 ）名（GRM：2名“医師・看護師”事務担当：1名）  
兼任（ 1 ）名（室長）

- ・ 活動の主な内容：

- ① インシデントレポート等の集計と分析、現場への必要な情報の周知
- ② 各リスクマネージャーとの連絡調整
- ③ 各部署及び職員に対する指導・助言
- ④ 院内巡視による安全点検と指導
- ⑤ 安全管理に関する教育・研修の企画・立案・運営
- ⑥ 安全相談窓口に関すること
- ⑦ 安全管理に関する診療ガイドライン等の作成への参画

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

|  |   |
|--|---|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況  | ☑・無   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>① 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>② 院内感染対策委員会、その他医療機関の組織に関する基本事項</li><li>③ 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針</li><li>④ 感染症の発生状況の報告に関する基本事項</li><li>⑤ 院内感染発生時の対応に関する基本事項</li><li>⑥ 患者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>⑦ その他院内感染対策の推進のための必要な基本方針</li></ul></li></ul> |   |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況   | 年11回  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>① 院内感染対策に関し、予算、施設、整備など重要な事項に関する審議</li><li>② 院内感染に対するマニュアルの作成などの事項に関する審議</li><li>③ 院内感染対策についての周知徹底や啓発などの事項に関する審議</li><li>④ 院内感染が判明した場合の報告および対応などの事項に関する審議</li></ul></li></ul>   |   |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況   | 年 3回<br>(全職員対象研修)   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>① 「沖縄県の新型インフルエンザ対策」</li><li>② 「新型インフルエンザ流行拡大に備えて」</li><li>③ 「一人できなきゃチームでやれ」</li></ul></li></ul>  |   |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無)</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>① 定期的にICNにて耐性菌新規分離状況を確認し、病棟へ対策の確認と指導を行う。</li><li>② 定期的にICTミーティングを開催し、耐性菌分離状況の確認を行い、感染対策について検討を行う。また、ミーティング終了後にラウンドを実施し、環境確認や感染対策にかんする指導を行う。</li><li>③ 感染対策実務者会議および感染対策リンクナース、ICTニュースなどで情報共有を図る。</li></ul></li></ul> |

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |       |
|---|-------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況  | ☑・無   |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況  | 年 3 回 |
| 研修の主な内容：<br>平成 21 年度の医薬品安全管理研修会は、平成 21 年 7 月 29 日に「抗凝血薬、抗血小板薬中止による心血管リスク」、10 月 27 日に「インスリンデバイスの正しい使用法とインシデントの事例」について、12 月 16 日に「医療事故防止のための医薬品安全管理体制の維持、強化について」と題して単独 2 回、共同開催 1 回で計 3 回開催された。 |       |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況  |       |
| ・ 手順書の作成 (☑・無)  |       |
| ・ 業務の主な内容：手順書を院内各部署に配置している。日常的には各部署の責任者が手順書に基づいて業務が行われているかをチェックする。定期的に、安全管理の責任者が巡回し、手順書に基づく業務が実施されているかを確認する。  |       |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況   |       |
| ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☑・無)  |       |
| ・ その他の改善のための方策の主な内容：薬剤部の医薬品情報室で情報を収集・整備を行っている。広報すべき情報は、院内処方オーダーシステムの処方オーダー画面の開始画面に表示している。   |       |

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |                   |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |
|---|-------------------|---------------|-------|-----------------|----------|---------|-------------------|--------------|------------------|--------|---------------|------------------|---------------|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況   | ☑・無               |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況   | 年 81 回            |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="0"><tr><td>・ 医療機器の基礎安全管理</td><td>・ 保育器</td></tr><tr><td>・ 輸液ポンプ・シリンジポンプ</td><td>・ 血液浄化装置</td></tr><tr><td>・ 人工呼吸器</td><td>・ 診療用エネルギー放射線発生装置</td></tr><tr><td>・ 診療用放射線照射装置</td><td>・ 人工心肺装置及び補助循環装置</td></tr><tr><td>・ 除細動器</td><td>・ 心電計・ペースメーカー</td></tr><tr><td>・ 人工心肺装置及び補助循環装置</td><td>・ 新規医療機器導入時研修</td></tr></table> |                   | ・ 医療機器の基礎安全管理 | ・ 保育器 | ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプ | ・ 血液浄化装置 | ・ 人工呼吸器 | ・ 診療用エネルギー放射線発生装置 | ・ 診療用放射線照射装置 | ・ 人工心肺装置及び補助循環装置 | ・ 除細動器 | ・ 心電計・ペースメーカー | ・ 人工心肺装置及び補助循環装置 | ・ 新規医療機器導入時研修 |
| ・ 医療機器の基礎安全管理   | ・ 保育器             |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |
| ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプ   | ・ 血液浄化装置          |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |
| ・ 人工呼吸器   | ・ 診療用エネルギー放射線発生装置 |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |
| ・ 診療用放射線照射装置  | ・ 人工心肺装置及び補助循環装置  |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |
| ・ 除細動器  | ・ 心電計・ペースメーカー     |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |
| ・ 人工心肺装置及び補助循環装置  | ・ 新規医療機器導入時研修     |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況   |                   |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |
| <p>・ 計画の策定 ( ☑・無 )</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>34品目のME機器 (576台) の定期点検を行っている。</p>   |                   |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況   |                   |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |
| <p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( ☑・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>業者、学会、院内、PMDAなどから集められた不具合情報やインシデントを院内のME新聞で各部に流すと同時に、医療機器安全管理専門委員会で報告し、医療スタッフに再教育している。</p> <p>重大な医療機器不具合や情報は、直接院長に早急に報告できるようにしている</p>   |                   |               |       |                 |          |         |                   |              |                  |        |               |                  |               |